

## 日本情報処理検定協会会長賞・検定委員長賞受賞

日本情報処理検定協会では、同協会が主催する情報処理検定試験で優秀な成績を収めた生徒を対象にした表彰制度があります。今年度は1級5種目以上取得の生徒2名が会長賞、1級3種目以上取得の生徒8名が検定委員長賞を受賞しました。

みなと総合高校商業科では、ワープロソフトウェアや表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアなど、大学や就職先で必ず必要となるソフトウェアの操作技術を学び、検定試験に挑戦することを推奨しています。今年の3年生は1・2年生のころから継続してこれらの科目を選択していたり、1年で複数の科目を選択していたことから上記のような賞を受賞することができました。検定試験は、学習を通して技能を磨くことはもちろん、試験に向けて計画的に学習する姿勢を学んだり、合格の達成感を得ることができます。また、一部の大学では推薦入試の条件になっていることもあります。今後も積極的な受験を期待します。

